

日本NIE学会会報

第15号

[発行所] 日本NIE学会事務局 〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1 広島大学大学院教育学研究科 朝倉淳研究室内
TEL/FAX 082-424-7130 E-mail: aasakura@hiroshima-u.ac.jp

※平成22年度より上記に移転しました

挨拶

～日本NIE学会の「志」～

日本NIE学会会長
小原 友 行

初代会長の影山清四郎先生の後任として、本年4月に会長に就任いたしました小原友行です。2年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、本学会も2005（平成17）年3月20日に発足して以降、満5年が過ぎています。この間、教育学系の他学会と同様に、研究大会の開催と機関誌発行を中心に活動を展開し、新しく誕生した学会としては比較的順調に発展してきていると認識しております。

しかし、10～20年後を想定した時、現状のままでは発展の継続は難しいように思われます。「研究・実践の量的・質的向上」「若手の人材育成（新入会員増も含む）」「学会の魅力づくり」「NIEの積極的な情報発信の必要性」など、課題も多くあります。その意味では、NIE学会としての新たなチャレンジが求められていると時期と考えることができます。

いうまでもなく、発足以来変わらない日本NIE学会のアイデンティティは、次の5点だと考えております。

- ① NIE学の構築に向けた研究・実践
- ② 教育の今日的課題の解決に向けた研究・実践
- ③ NIEの研究・開発と情報発信（機関誌・図書・ウェブなど）を通しての人材育成
- ④ 他学会とは異なるより実践的・開発的・創造的な研究の展開
- ⑤ 教育界と新聞界との協同（協働）による活動

このようなアイデンティティを継承しつつ、課題の克服に向けて、任期中の2年間には、主に次の8点について取り組んでいきたいと考えております。

- ① 魅力的な実践研究、開発研究、創造研究の推進（投稿論文の量的・質的拡大に向けて）
- ② 協同（協働）型のグループ研究の推進
- ③ 情報発信の多様化（研究大会、機関誌発行に加えて、地域の拠点づくりに向けた各地での公開講座や入門セミナー等の企画、ウェブサイトの改善、実践論文集づくりなど）
- ④ NIEの卒業論文・修士論文・博士論文に取り組む学部生・留学生・大学院生の支援
- ⑤ 新人・若手教員、保護者、生涯学習担当者などに関心をもってもらうための取り組み
- ⑥ 国語・社会・総合以外の教科・領域の実践者・研究者の参加

- ⑦ 国際交流の推進（諸外国から実践者・研究者を学会にゲストして招待など）
- ⑧ これらを通しての研究・実践を担う後継者の育成（会員は一人1名の後継者づくりを）

おわりに、本学会が、活字離れの克服、情報読解力の向上、市民性の育成といった今日的な教育課題の解決とそれを担う人材育成という点で社会貢献できる「志」のある学会として発展していけますように、会員の皆様方のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

2010（平成22）年5月3日

日本NIE学会第7回大会のご案内（一次案内）と 自由研究発表の募集

日本NIE学会会長
小原友行
第7回大会実行委員長
村田隆紀

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日本NIE学会第7回大会を以下のとおり開催いたします。皆様お誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

1 期日 2010年11月27日（土）～28日（日）

（当初、20日（土）・21日（日）の開催を予定していましたが、開催校の事情で日程を変更しました。お間違えのないようお願いいたします。）

2 会場

京都教育大学（京都市伏見区深草藤森町1番地）

JR奈良線・「JR藤森」駅下車 徒歩約3分

京阪本線・「墨染」駅下車 徒歩約7分

3 参加費 大会 2000円（学生・院生1000円）

懇親会 4000円

（第二次案内送付時に振込用紙を同封しますので、事前の振込みをお願いいたします。）

4 日程

○ 11月27日(土)

11:30 12:00 13:00 14:45 15:00 16:45 17:00 17:45 18:00 20:00

受付	理事会	シンポ ジウム1	移 動	シンポ ジウム2	移 動	総会	移 動	懇親会
----	-----	-------------	--------	-------------	--------	----	--------	-----

○ 11月28日(日)

9:30 11:30

自由研究発表

11月27日(土)

11:30- 受付

12:00-13:00 理事会

13:00-14:45 シンポジウム1 「新指導要領と新聞活用」

パネリスト 高木 まさき (横浜国立大学)

橋本 祥夫 (京都教育大学附属京都小中学校)

野津 孝明 (島根県立松江教育センター) 他

コーディネータ 岡本 利昭 (大阪府教育センター)

15:00-16:45 シンポジウム2 「メディア社会とNIE」

パネリスト 川口 加代子 (高知市立江ノ口小学校)

樋口 克次 (大阪経済大学)

柳澤 伸司 (立命館大学)

直野 信之 (京都新聞社編集局) (予定)

コーディネータ 阪根 健二 (鳴門教育大学)

17:00-17:45 総会

18:00-20:00 懇親会

11月28日(日)

09:30-11:30 自由研究発表 (1発表30分)

5 自由研究発表の募集

自由研究発表の発表者を募集いたします。会員はどなたでも応募できます。また発表内容は、NIEに関するものであれば、実践報告や理論研究など、とくに限定はありません。

発表時間は30分(発表20分+質疑10分)を予定しています。

自由研究発表を希望される方は、下記事項を明記の上、8月15日(日)(必着)までに大会事務局までメール(もしくはファクス)でお申し込みください。

- 1) 発表テーマ
- 2) 氏名・所属・職名(連名の場合は代表者に○印をつけてください。)
- 3) 連絡先(連名の場合は代表者の連絡先): 住所・電話番号・メールアドレス
- 4) パワーポイント使用予定の有無
- 5) 事務局への連絡事項

6 発表要旨集録用原稿の様式等

シンポジウムのパネリストおよび自由研究発表を予定されている方は、5頁掲載の様式で発表要旨集録用原稿(1頁分)を作成し、メール添付もしくはプリントアウトした原稿で、9月30日(木)(必着)までに大会事務局にお送りください。なお、送付いただいた原稿をそのまま印刷いたします。

7 その他

恐縮ですが、宿泊等の手配につきましては各自でお願いいたします。

大学周辺には適当な宿泊施設がありませんので、京都駅(JR藤森駅まで8分)周辺のご利用が便利だと思います。

なお大会開催時期は秋の観光シーズンと重なりますので、お早めにご手配ください。

8 自由研究発表申し込み・発表要旨収録用原稿 宛先・連絡先

〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地

京都教育大学

日本NIE学会第7回大会実行委員会事務局 平石 隆敏

E-mail hiraishi@kyokyo-u.ac.jp

電話 (075)644-8213

ファクス (075)644-8212

会報ニュース

◆事務局からのお知らせ

1 学会費等振込先変更のお知らせと学会費納入のお願い

事務局移転にともない学会費等振込先を以下のとおり変更しましたので、お知らせします。なお、払込用紙を同封しておりますので、2010年度の学会費の納入をお願いします。

金融機関名	ゆうちょ銀行
口座記号番号	01360-2-100956
加入者名	日本NIE学会 (ニホンエヌアイイーガッカイ)

(他行からの振込みの場合)

店名(店番)	一三九(イチサンキュウ)店(139)
預金種目	当座
口座番号	0100956
口座名称	日本NIE学会 (ニホンエヌアイイーガッカイ)

学 会 費	法人会員	50,000 円
	正会員	5,000 円
	準会員(学生)	2,000 円

2 法人会員 2社加入

本学会に、秋田魁新報社、熊本日日新聞社(五十音順)の2社が法人会員として加入されました。

3 訂正とお詫び

会報14号6頁で、第5会場三人目の報告者のお名前が「樋口直樹氏」となっておりますが、正しくは「樋口克次氏」です。申し訳ありませんでした。訂正してお詫び申し上げます。(前・会報作成担当 平石 隆敏)